

# ハートフルハウス便り

オーナー様へ



代表取締役 佐々木雅宣

## オーナーの皆様

「水を治めるものは国を治める。」と中国の古いことわざにあるようですが、今年の東北の梅雨はまだ本格的に始まっているようです。

雨水は上手にコントロールしませんと大変な水害になる一方、これを上手に利用することにより我々は安定した水道水の確保、工業用水、農業用水、発電用水など利用価値は計り知れません。

私は前の会社でダムをコントロールするシステムの仕事

に携わっておりましたが、壮大な事業の中で上流から下流まで数10kmにも及ぶ、付帯工事による大規模な自然破壊と、ダムがもたらす恩恵とどちらがよりメリットがあるのだろうか?と疑問に思いながら仕事をしておりました。

出来る事なら自然を壊さず快適な生活、便利な生活を送ることが出来れば一番良いのでしょうか、それは人間の傲慢かも知れません。



## 消える? 不動産業界の未来

■オックスフォード大学が認定した「今後10年で消える職業」に不動産業者がランクインされています。

地域に密着した我々不動産業者が今後とも生き残ることが出来るのでしょうか?

人工頭脳AIやインターネット技術の進化により、このような疑問は不動産業界のみならずあらゆる業種に及ぼしていくと思われます。

単なる情報の媒介のみで多額の報酬を得る仲介専門業者は一番早くその影響を受けるでしょう。

アメリカではすでに一般的なアパートの50%以上は業者を通さず直接借り主と貸し主が契約をするようになっているとのことです。お国柄や法律の違いもあるかと思いますが日本もいすれ業者を介さない取引が一般化していくものと思われます。

貸し主の物件を簡単に図面化しネット上に公開してくれる専門の業者も現れ、借り主は不動産業者を通さず直接貸し主と交渉する事が出来、条件が折り合えば契約は成立します。

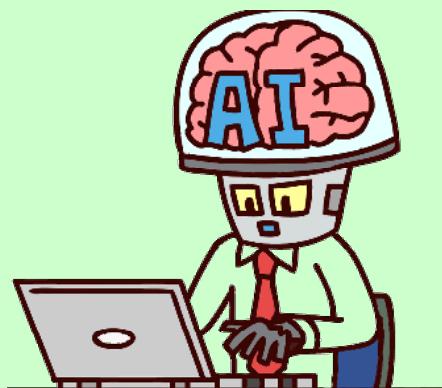
後は間違いのない契約書をこれも専門の業者が簡単に作ってくれるでしょう。入居後のトラブルもそれぞれ専門の業者が問題なく解決してくれます。

賃貸借契約のみならず売買契約でも同じ事が言えます。

売買物件があらゆる法律に適合しているか調査してくれるエクスプローラーの専門業者も出てきています。仮に一億円の売買取引ですと不動産業者に約330万円の報酬が必要ですが、エクスプローラーの専門業者にお願いしますと、わずか数十万円で調査してくれます。あとは売り主との価格交渉と書類作成だけです。インターネット上で物件相場は簡単に調べることが可能ですので、売り主と直接交渉も可能です。このような時代が来れば不動産業者にとっては深刻な事態ですが、消費者にとりましてはありがたい時代と言えるでしょう。

時代の流れがこのような処理を可能とすれば、あとは消費者がどちらを選ぶか自己責任において判断すべきと思います。

このような時代が近い将来に突然起こり、だんだんお客様が少なくなり、それが一時のことではなく2度と元に戻ることなく仕事が無くなっていく。そんな現象が様々な業種で起こってくるものと思います。当社ではこのような時代が到来しても動じることなく、より専門性を高める努力をし、素人同士の取引では実現しないお客様の収益を最大限化するノウハウを身につけ、プロとして貢献が出来れば必ず生き残れるものと信じております。



## ガンも治す「マクロビオティック」のお話し 2

前回のニュースレターで、マクロビオティックの始まりについてご紹介致しましたが、今回はより具体的な内容について概略をご紹介したいと思います。

最初に基本的な概念をご説明しますと、自然界の生物の中でその進化の頂点といわれる人類ですが、本当にそうなのでしょうか？という疑問点からスタートします。なぜなら理性的な思考や言葉を話せる事など、他の生物には無い優れた知性を人間は持っていますが、もう一つの大切な能力である、本能については、はなはだ疑問が残ります。

本能というのは知性ではとても及ばない優れた能力を発揮します。

例えば、本能的に地震を予知し安全な場所に避難する野生動物や、秋に巣作りをするカマキリがその年の積雪の深さを本能的に知り、その高さ以上に巣を作る事など例を挙げればきりがありません。また野生の動物は匂いなどで安全なものと危険などを嗅ぎ分け、自分の体に合ったものだけ選んで食べています。

決して人間の栄養学で良く聞く、30種類以上の野菜を食べてはいません。それでも彼等は病気もせず与えられた寿命を全うしています。

哺乳類のヒト科に属する我々人間の寿命は、成長期の6～7倍、120歳～140歳であると、生物学では定説になっています。しかしながらほとんどの人は寿命を全うする事なく、いろいろな病気で亡くなっています。

おのれのいちばん大切な命さえも全うできない人間が、他の生物より高等であるという考え方はいかがなものでしょうか？人間がサルから進化したという意見に対し、それはサルに大変失礼な事であるといっている方がいましたが、それはこの辺の考え方由来しているかも知れません。

もし、大災害に遭い食べる物がなくなった時には、ヒツジやヤギなどから食べられる雑草を教えてもらう方法があるかも知れません。彼等が食べる物は危険が少ないと見て良いと思います。見た目が美味しそうな草でも、彼等の口元に近づけると、危ない草は絶対に食べようとしません。畑で育った野菜しか食べてこなかった人間はこの本能が著しく落ち込んでいると思います。

また、雨降りの日に目の前をスピードを落とさず通った車に、泥水を頭からかけられてしまった時、人はその車をにらみつけたり、場合によってはその車の運転手にクリーニング代を請求するかも知れません。

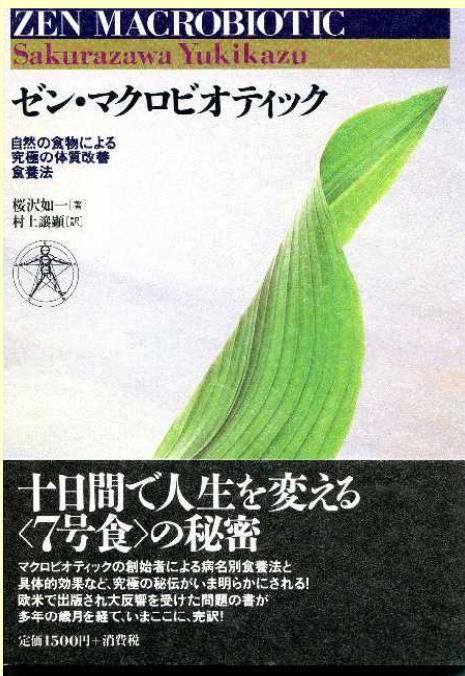
しかし、これは人間社会だけに通用する理屈で、もしこれが自動車ではなくライオンだったらどうでしょう。間違いなく、この人は命を落としていたでしょう。

つまり、雨降りの時は泥水が跳ね上るのは当たり前の話です。それを事前に予知できなかつたことは、明らかに危険に対する予知能力（本能）が落ちている証拠になります。雨の日に、もし頭から泥水を浴びてしまったら、決して車の運転手を恨んではいけません。むしろ自分の本能が落ちている事を教えてくれた運転手に「教えてくれて有り難う！」と感謝すべきです。

このような心がけで生きていますと、防護コンクリートの無い交差点に無防備に立ち止まつたりする事無く、電柱の陰など必ず自分を守ってくれるもの陰に立つようになります。野生の動物も決して自分の体を無防備にさらす事無く、必ず岩陰や穴の中、草むらに身を隠し自分の身の安全を守っています。

人間だけがつまらない法律論をかざし、相手に賠償金を請求したりしていますが、痛い思いをしただけ愚かな事です。マクロビオティックはこのような思想的な背景があり、単なる病気治しや病気にならない技術のみを知っても長続きしません。

テクニックよりも考え方を知る事により、どんな災いも病気も防ぐ事が出来るようになり、人生を楽しむ事が可能となります。その基本は「自然界に学ぶ！」ことです。 次回に続きます。



代表取締役 佐々木 雅宣

（もし、緊急にこの食養法をお知りになりたい方は、いつでも直接私宛てにお問い合わせ下さい。お仕事とは関係なく出来る限りお伝えしたいと思います。 メールでも結構です。 m-sasaki@heart-fu.com ）

保存版

# 駐車場の白線 お任せ下さい！



管理部長  
上野 光昭

## 車の移動不要

狭い場所での作業が可能です。  
駐車中の車があってもOK！  
車の移動が不要です！



## ペイントの6倍の強度

加熱溶着式で接着強度・耐摩耗  
強度が強く継続期間が長いのが  
特徴です！ \*メーカー実験データによる。



## 長持ちしかも低コスト

一度作業をすれば長持ちします。  
また、大規模な施工ではありま  
せんので低コスト！



**無料お見積り致します！ご連絡ください！**



株式会社 ハートフルハウス  
TEL 022-234-8628 担当 上野